

2026年度

医療イノベーション 人材養成プログラム

ONLINE



プログラム概要

医療イノベーションの創出に不可欠な人材育成を目指し、本プログラムを開催しています。

世界の中での日本の医療機器や創薬分野のイノベーションの動向について学ぶとともに、特許・バイオビジネス分野の実務者によるリアルな情報、研究成果を適切に取り扱うために必要な知識・情報を効率的かつ総合的に獲得できるプログラムです。



開催期間＜全12コマ＞

2026年

2027年

10月13日～1月19日

毎週火曜日 18:00～19:30

※初回は19:45まで



プログラムの特徴

- 出席率80%+終了後のレポート提出者に「修了証」を発行します。
- 本年度よりアーカイブ受講も出席カウントできるようになりました。
- 医療機器ジャンルについては、より実践的な学びを希望する方向けにステップアッププログラムを用意



対象・受講資格

医療機器・創薬・再生医療分野の開発と産官学連携に興味があり、リスティングやスタートアップを目指す社会人や学生。メーカー、行政、研究者、医療従事者等、業種・職種は問いません。

受講料

- 一般 22,000円/人（税込）
- 公的研究機関・アカデミア 11,000円/人（税込）
- medU-netアカデミア/法人会員 無料（5名まで）
- TIP有料会員・学内関係者 無料

締切
9月30日
(水)
24:00

お申込み・詳細はこちら

※過去の受講者も応募可
※申込多数の場合は審査を行います



こちらからも
確認できます

2026年度 医療イノベーション人材養成プログラム

	開催日時	テーマ・概要（要約版）	講師
イントロダクション	10月13日 18:00～ 18:15	プログラムの趣旨	飯田 香緒里 東京科学大学 副学長 医療イノベーション機構長
	18:15～ 19:45	医療イノベーションの動向 20世紀後半以降、ライフサイエンス研究は急速に進展し、生命現象の理解が深まった。これにより医療技術が進化し、2010年以降は遺伝子治療など新技術も登場。本講演ではその歴史と未来を語る。	辻 真博 科学技術振興機構 研究開発戦略センター(CRDS) フェロー
医療機器	10月20日	グローバル企業の研究開発・サプライチェーンの事例、海外産業クラスター事例の紹介。日本の産官学連携状況と産官学連携の政策動向 Medtronic社を事例に、研究開発体制、技術、安定供給、日本企業との連携を紹介。産官学連携や政策動向を踏まえ、グローバル市場での新規事業と日本の医療機器産業発展を考察する。	池田 剛 日本メドトロニック 株式会社 シニアマネージャー
	10月27日	医療機器の承認審査について 本邦の医療機器に関する法規制と承認審査の全体像を、平成26年から対象となった医療機器プログラムを含めて概説。迅速な臨床導入に向けた行政の取り組みや相談業務についても紹介する。	小志戸前 葉月 医薬品医療機器総合機(PMDA) プログラム医療機器審査部 主任専門員
	11月10日	革新的医療機器の社会実装 一 開発・規制・事業化をつなぐ戦略設計一 革新的医療機器の社会実装に向け、臨床ニーズを軸とした開発、薬事、知財、資金調達、事業モデル、市場導入を一体的に設計する戦略と実践の要点を、医師起業家の経験や具体例を交えて解説する。	岡本 将輝 Boston Medical Sciences 株式会社 代表取締役CEO
	11月17日	革新的医療機器開発のために必要な投資家目線のポイント 今世紀の革新的医療機器はスタートアップが主導し、投資家視点の理解が不可欠。医療機器エコシステムと成功事例を通じ、開発の重要ポイントを解説する。	大下 創 Med Venture Partners 株式会社 代表取締役社長
医薬品・再生医療等製品	11月24日	日本における創薬エコシステムの構築 創薬はオープンイノベーションの時代へ。大学発技術をスタートアップが育成し、企業が製品化するエコシステムが形成されている。バイオテック育成を軸に、日本の創薬力と成長への課題・可能性を考察する。	藤本 利夫 アイパーク インスティテュート株式会社 代表取締役社長
	12月1日	従来の「国内ドメスティック完結型」か、国内シーズの「米国輸出型」かー二者択一を超える、第三のバイオスタートアップ経営戦略 国内バイオスタートアップの環境と創薬モデルの変化を踏まえ、資金・人材・知財・研究開発・事業開発を連携させ、シーズの価値最大化と社会実装を実現する次世代型経営モデルを提示する。	森下大輔 SODAI Therapeutics株式会社 Founding President and Chief Executive Officer
	12月8日	医薬品の薬事 医薬品の承認審査の基本事項に加え、最新の開発動向や再生医療等製品にも言及。ドラッグ・ロス解消に向けたPMDAの取組みも紹介	山本 恭子 医薬品医療機器総合機(PMDA) 新薬審査第五部 主任専門員
	12月15日	「再生医療を取り巻く制度と研究開発の現状」 iPS細胞を契機に発展した再生医療について、安全性確保法や再生医療等製品制度などの規制・承認枠組みを概説し、最新の研究開発動向を解説する。	岡本 圭祐 東京科学大学 医療イノベーション機構 特任講師



	開催日時	テーマ・概要（要約版）	講師
デジタルヘルス・事業開発	12月22日	デジタルヘルスの課題を含めた全体俯瞰 デジタルヘルスの全体像と課題を、臨床実務とサービス運用の経験から俯瞰して解説。SaMDに加え、予防医療や非治療型ビジネスも視野に、現場課題を克服し社会実装するためのサービス指針と展望を紹介します。	水野 篤 聖路加国際病院 循環器内科 医療の管理室室長
	1月12日	医療とAI ― 実装・収益化・事業創出で読み解く現在と未来 医療AIビジネスの成否を左右する実装・収益化・規制対応に焦点を当て、投資、事業創出、先端ヘルスケアの視点から現在と未来像を論じ、現場で活用できる判断軸を提示する。	島原 佑基 医療AI推進機構株式会社 機構長 BioEngineeringCapital株式会社 代表取締役
	1月19日	医療の設計・経営 臨床、政策、社会起業、データ活用の視点から、医療を設計し動かす方法を考察する。価値に基づく医療と健康投資型医療を手がかりに、価値を社会へ広げるための設計と協働者の巻き込み方を論じる。	山本 雄士 株式会社 ミナケア 取締役

各講義の詳しい内容はWEBSITEへ



締切
10月1日
(木)
0:00

お申込み・詳細はこちら

※過去の受講者も応募可
※申込多数の場合は審査を行います



QRからも
確認できます